

PANTONE® WATERPROOF

SoftBank 202SH for Biz

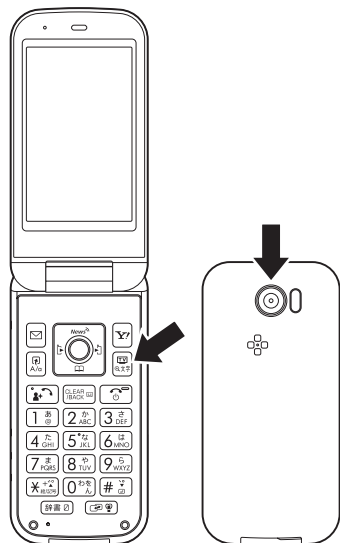
補 足 説 明 書

はじめにお読みください

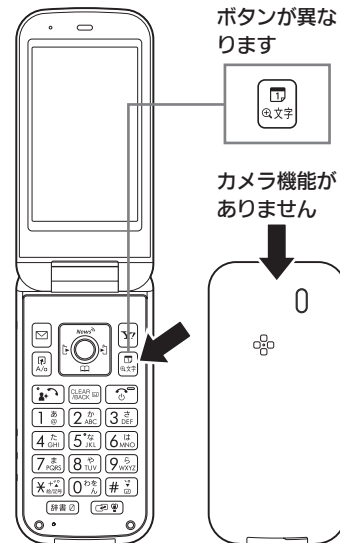
外観／ボタンの違い

本機と「202SH」は、搭載機能の違いにより、外観や一部のボタンが異なります。同梱の説明書をお読みの際は、以下を参考に読み替えてご利用ください。

■ 202SH



■ 本機



おもな仕様の違い

■ 利用できない機能

カメラ	静止画／動画撮影、TVコール、バーコード／名刺読み取りなど、カメラを使用する機能は利用できません。
ワンセグ (TV)	ワンセグを視聴することはできません。
お父さん画像	壁紙やきせかえアレンジなどのお父さん画像は利用できません。

■ 追加された機能

SI GPSナビ	地図表示やルート確認など、いろいろな位置情報サービスが利用できます。
----------	------------------------------------

※操作方法など、詳しくは「補足説明書」(右記)をダウンロードのうえ、参照してください。

■ 変更された機能

メインメニュー	「カメラ」、「TV」がなくなり、「外部接続」、「ボイスレコーダー」が追加されています。また、「ツール」内の「外部接続」タブがなくなりました。
シンプルメニュー	「カメラ」、「テレビ」がなくなり、「設定」、「カレンダー」が追加されています。
カレンダー	専用ボタン () で起動できます。
SIアプリ	搭載アプリケーションが異なります。

残念だが、オレはもういない。



おもな画面の違い

■ 202SH



待受画面(例)

メインメニュー

■ 本機



待受画面(例)

メインメニュー

説明書について

本機と同梱されていない説明書には、以下のものがあります。202SH用のものもありますので、ご利用になる際は、ご注意ください。

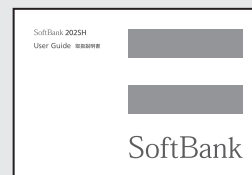
■ 補足説明書 (本機専用：PDFファイル)



本機の追加機能の使いかたや、取扱説明書／すぐいまガイドをご利用いただく際の、補足情報を説明しています。追加機能をお使いになるときや、これらの説明書をご利用になる前に、お読みください。

- 補足説明書のダウンロード先は、次のとおりです。
http://mb.softbank.jp/mb/product/3G/202sh_for_biz

■ 取扱説明書 (202SH用：PDFファイル)

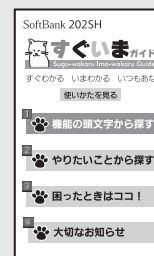


202SHの使いかたを、詳しく説明しています。

本機では、利用できない機能や、操作の異なる機能の説明もありますので、必ず上記の「補足説明書」をご覧のうえ、ご利用ください。

- 取扱説明書のダウンロード先は、同梱の説明書に記載しています。

■ すぐいまガイド (202SH用：携帯サイト)



202SHの基本的な使いかたを、本機の画面で確認することができます。

本機では、利用できない機能や、操作の異なる機能の説明もありますので、必ず上記の「補足説明書」をご覧のうえ、ご利用ください。

- すぐいまガイドの接続先は、同梱の説明書に記載しています。

本機と同梱されている説明書「クイックスタート」、「お願いとご注意」は、「202SH」と共用となっています。本書では、本機と「202SH」との違いを中心に、同梱の説明書をお読みになる際の補足情報を記載しています。本機をお使いになる前に、必ずお読みください。

↑ 11202SHの取扱説明書

← 裏面もお読みください

TINSJ010AFZZ
13X.00.0.XX.XX

携帯電話機の比吸収率^{*1}(SAR)について

この機種【2025He】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準^{*1}は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが2W/kg^{*2}の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。この携帯電話機【2025He】の、SARは0.657W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。この機種は、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します^{*3}。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

※2 平成9年に (旧) 郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格 (IEC 62209-2) が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会 (FCC) の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.23W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【2025He】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向けて位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【2025He】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.674W/kgです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

SoftBank 3G 各機種の電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら

<http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/>

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 2025He is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: <http://www.sharp.co.jp/kt-tai/>

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.634 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.674 W/kg***. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due

to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network. The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

**Please see "Electromagnetic Safety" on P.40 for important notes regarding body-worn operation.

***A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC 62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by 3G model

<http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/>

(Japanese)

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 24.0 mV.

FCC Notice

• This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

• Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization

through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.27 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.23 W/kg. Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 15 mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 15 mm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID APYHRO00183. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>.